

学校だより



遠景

令和5年度 釧路町立遠矢中学校6月号 No.3

<教育目標>

自ら進んで学習し、基礎・基本が定着した生徒（知）
自他を大切に、粘り強く最後までやり抜く生徒（徳）
健康でたくましい生徒（体）

発行責任者：校長 佐藤 毅 令和5年6月26日発行

「自己肯定感」を高める教育を進めたい！

校長 佐藤 毅

教師として38年間、親として32年間、学校教育や子育てに携わり人生経験を積んできました。その中で、確信したことがあります。それは、子どもたちの自己肯定感を高めることが、教育においても重要であるということです。

自己肯定感とは、自分の存在を認め、自分は自分のままでいいと思える心の状態のことを言います。他人と比べることなく、自分をかけがえのない存在として肯定する、誰かに好意的に受け止められることで生まれます。自己肯定感が高いことは、前に進むための原動力となり、学習や仕事を進める上でも重要な感覚です。似ている言葉に自己有用感や自己効力感がありますが、それらを高めるためにもまずは自己肯定感を高めることが大切であると感ずます。

自己肯定感の高い子どもには次のような特徴が見られます。

- いろいろなことに興味があって好奇心旺盛。何ごとにも積極的に取り組める
- 失敗しても落ち込みすぎない。すぐに諦めることなく、次にチャレンジする時の糧にする
- 自分の気持ちも周りの人の気持ちも大切にしている
- 他人と自分を比べすぎない
- 人前でも物怖じせず、堂々と振る舞ったり、話したりできる

では、どのように子どもと接することが必要なのでしょう。そのいくつかを紹介します。

○子どものすべてを受け入れる

子どものすべてを日頃から受け入れることで自己肯定感が高まりやすくなります。全面的に受け入れると、子どもの中で「自分は親や周りにとって大切な存在」という感情が大きくなるためです。たとえば、何かに失敗して泣いていたなら、「何をしているんだ」「落ち込むんじゃない」と叱るのではなく、子どもの悲しい気持ちや悔しい気持ちを受け止めます。失敗しても受け止めてくれる人がいれば、子どもはポジティブな気持ちで次の挑戦に臨めるようになります。

○感謝やほめる言葉をかける

日常生活の中のささいなことでも感謝の言葉をかけると、自己肯定感が高まります。自分の言動により相手が喜んでくれると、子どもの中に「またやろう」という前向きな気持ちが芽生えやすくなります。感謝の言葉と同様に、ほめることも子どもの自己肯定感を高

める上で大切な行為です。ほめる際は「何がよかったのか」を具体的に伝えると、ほめてもらった内容を次の目標に向かって生かせるようになります。

○何があってもほかの子どもと比較しない

絶対にやってはいけないことが、他の子ども（兄弟姉妹含め）との比較です。自己肯定感を高める上では、子ども自身ができるようになったことに注目するべきであり、他人と比較する必要はありません。周囲と比べられると、「周囲よりも勝ること」が子どもの中で大切になり、足りないと感じた部分に劣等感を抱きます。また、常に周囲と比べられる環境では、自分と人を比べる習慣が子どもに身につく、結果的に自己肯定感を低くする要因となります。子どもはそれぞれに個性やよさがあるため、自分の子どもがどれだけ頑張っているか、どれだけ成長しているかに注目することを心がけます。

○子どもに期待しすぎない

教師や親が期待をこめすぎると、子どもは「期待に応えなくてはならない」というプレッシャーを感じます。子どもの教育に力を入れているほど、必要以上に期待を押し付けられないことが重要です。たとえば、学校の徒競走で子どもが2位だったときに、さらに上を望んで「次は1位を目指そうね」と声をかけたくくなります。しかし、このような場合でも、まずは2位になった頑張りや2位に至るまでの過程、挑戦する姿勢をほめてあげることが大切です。

○子どもが考える時間を作る

子どもは持っている知識や経験を使って考えた上で、行動したり、話をしたりします。何かを始める時や、こちらが質問を投げかけた時は子どもが考える時間を設けます。先回りをして準備し、決められた答えに導かないように気をつけます。子どもの考える力を摘み取ってしまうこととなります。

本校では、自己肯定感を高める生徒指導に努めています。また、全ての子どもたちが個に応じて「わかる・できる」授業づくりや、苦労しながらも成功体験を可能にする学校行事を目指し、校内研修等において私たち教師の指導力を向上するための学びを進めています。これは、子どもたちの自己有用感や自己効力感を高めるためです。

子どもたちが将来社会で自立し、活躍し、充実した人生を送るために、是非、ご家庭においても、意識してご指導いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【7月学校行事予定】

日	曜	主な活動	バス
1	土	地区中体連バレーボール大会①	
2	日	地区中体連バレーボール大会②	
3	月	全校朝会 SSW 来校	15:40 17:00
4	火	4時間授業（教職員研修会）	13:20
5	水	体育祭総練習	15:40 17:00
6	木	食に関する指導（1年） SC 来校	15:40 17:00
7	金	体育祭（午前開催）（給食あり）6:30 天候判断	13:25 (15:40 17:00)
8	土	地区中体連バスケットボール大会①	
9	日	地区中体連バスケットボール大会②	
10	月	体育祭予備日	(13:25) 15:40 17:00
11	火	地域清掃	15:40 17:00
12	水	職員会議 歩こう Day 5時間授業	15:45
13	木	4時間授業（教職員研修会） 助産師派遣事業（3年）	13:20
14	金	ALT	15:40 17:00
15	土	釧路神社祭①	
16	日	釧路神社祭②	
17	月	海の日	
18	火	専門委員会 5時間授業	14:45 15:40 17:00
19	水	着衣水泳（1年）	15:40 17:00
20	木	5時間授業 薬物乱用防止・防犯教室	14:45
21	金	1学期終業式 壮行会 大掃除	15:40
22	土	夏季休業開始 ~8/17(木)	
23	日		
24	月	夏休み学習会①（登校便 20分繰下）	11:55
25	火	夏休み学習会②（登校便 20分繰下）	11:55
26	水	夏休み学習会③（登校便 20分繰下）	11:55
27	木		
28	金		
29	土		
30	日		
31	月	中学生模擬議会	

◎「ALT」外国語指導助手来校日 ◎「SC」スクールカウンセラー来校日 ◎「SSW」スクールソーシャルワーカー来校日

令和5年度 少年の主張 釧路町大会 自分の思いを熱く伝える

2年：佐々木希羽さん 奨励賞
「安心して過ごせる日本へ」

3年：阿部 咲羽さん 奨励賞
「社会の『普通』」

6月10日（土）、釧路町公民館において、町内小中学生の代表児童生徒による少年の主張釧路町大会が開催されました。本校から2名が出場し、自分の思いや願いなどを聞いている人たちに熱く語りかけていました。



佐々木希羽さんは、「児童虐待」の社会問題を取り上げ、ニュース等で知ったことを踏まえ、自分の意見や改善策を発表しました。主な内容は次の通りです。「私のために父母は熱心に動いてくれます。とてもいい家庭環境で育ててもらっていると実感しています。一方、親による虐待で苦しめられている子どもがいると聞くと怒りと疑問が湧いてきます。虐待する理由はストレスなど様々あり、その不安を子どもにぶつけているようです。私は当事者ではないものの無関心ではられません。まず、私が虐待について知り、多くの人たちにその事実を伝えていきたいです。そして、虐待でつらい思いをしている子どもを救い、子どもが安全に生きていける日本にしていきたいです。」

阿部咲羽さんは、「ジェンダーレス」社会の将来について自分で調べたことに基づき、自分の考えを発表しました。主な内容は次の通りです。「最近ニュースで性差の問題が取り上げられています。例えばジェンダーレスとは、男女の区別をなくすこと。他にもLGBTQなど性的指向を表す言葉。それは人権を守る意味が込められているといえます。ただ、言葉が作られると別の区別をつけてしまわないか気になります。みんなが自分と同じ感じ方・考え方ではないのでその点は理解してほしい。また、一人ひとりが認め合い、自由な考え方が尊重される世界になってほしい。いろいろな考え方を認め合える『普通』の実現を願っています。」



発表後の表彰式では、教育長から「奨励賞」を、釧路町更生保護女性会から副賞を手渡されました。

2年 宿泊研修 数々の体験学習 釧路駅前地域の自主研修など

6月15日（木）、16日（金）の1泊2日で宿泊研修（2年）が行われました。

1日目	中学校→動物園バックヤード→白糠恋問→音別パークゴルフ場→体験学習センターこころみ（宿泊）
2日目	こころみ→和商市場→釧路駅前地域自主研修→釧路駅→（JR）→遠矢駅（解散）

今年度は、釧路市動物園を訪ね、動物の飼育室（バックヤード）を見学してきました。また、普段外側から見ている展示施設（熊がいたところ）の中に入り、歩いてきました。動物の視点を感じられたでしょうか。その後、パ



ークゴルフをはさみ、「こころみ」ではパンやアイスクリーム作りなどに挑戦しました。2日目の自主研修では、釧路駅前地域にある遊学館や図書館などを訪れ、係の方から説明を受けながら調査活動を進めました。後日、生徒は「熊の檻に入れて興奮した」「おいしいパンができた」「ハプニングもあったけど楽しかった」と思い返していました。

1年 校外学習 将来の学びの一面 標茶高生徒が学習や生活を紹介

6月16日（金）、1年生23名が校外学習として標茶高校へ出かけました。到着後、高校生が標茶高校の特徴や学習・生活について丁寧に説明してくれました。続いて「校内“映えスポット”を探せ」「楽しく学んでストレス発散」「オリジナルパフェを作ってみよう」「牛乳を使ってプリンを作ろう」の各グループに分かれ、意欲的に体験学習を行いました。最後に高校敷地内にある牛舎を見学し帰路につきました。生徒は「高校生はハキハキして説明が上手だった」「将来のことを考えるきっかけになった」などの感想を持ちました。



地区中体連夏季大会などの結果 かいっぱい挑んだ真剣な勝負

- 釧路厚生社杯中学校年式野球選手権大会 5月6日（土）
遠矢富原別保 1-5 厚岸連合
- 釧路地区中学生春季バドミントン大会 5月3日（水）
男子ダブルス 植木悠真・嶋倉莉央 第3位入賞
女子シングルス 佐々木咲羽 第3位入賞
女子ダブルス 荒木佑来・佐藤楓 第4位
- 釧路ゆうやけライオンズカップ争奪春季バスケットボール大会 4月29日（土）
男子 遠矢 18-96 大楽毛
女子 大楽毛遠矢美原 35-33 標茶
大楽毛遠矢美原 15-122 鳥取
- 教育長杯争奪中学校バレーボール大会 5月14日（日）
遠矢春採別保 2-0 富原
遠矢春採別保 0-2 鳥取西
- 釧路地区中体連野球大会 6月17日（土）
遠矢富原別保 2-10 阿寒阿寒湖大楽毛鳥取西
- 釧路地区中体連バドミントン大会 6月17日（土）
男子団体 第3位入賞
女子団体 第3位入賞
女子ダブルス 荒木佑来・佐藤楓 第3位入賞
- 釧路地区中体連柔道大会 6月17日（土）
男子個人 60kg級：田保春真 第3位入賞

保護者の皆様へ ご連絡とお願い

- 1 副教材費などの納入(未納分)について
6月30日（金）…郵便局口座の引落日
※副教材費などが未納となっているご家庭には連絡文書を配付しております。お確かめください。事情によっては、現金による納入ができます。ご相談ください。また、ご不明な点がありましたら中学校（教頭）にお問い合わせください。
 - 2 朝の電話連絡とメール連絡について
平日7：30～18：00…電話対応時間
この時間以外は、基本的に電話対応できません。伝言がある場合は留守電をご利用ください。
平日7：55～8：10の間 …教職員の打合せ
この時間は、打合せのため、電話による連絡をご遠慮ください。
- ◎生徒の欠席・早退・遅刻の連絡はメールシステムをご活用ください。（別紙）